

# 市の動き

## 市民と共に展勝地桜の保全育成を考える

展勝地桜樹木を見よう・知ろう・守ろう行動2010（同実行委員会主催）は11月23日、同公園内で実施されました。

展勝地の桜並木には、樹齢90年を超える老木が残っています。見よう・知ろう・守ろう行動は、市民の皆さんが樹木の現状を知り、保全作業の見学と体験を通して、市民の手で桜並木を将来に引き継いでいくために開催。参加者は、



根元を掘り、病気がついた根を取り除いて土を入れ替える作業の説明

木の根元に空気を送り栄養を取り込みやすくさせるエアレーション作業や、病気がなった根を取り除く作業などを見学しました。根の除去作業に挑戦した菊池太雅君（岡小5年）は根が柔らかかったです。できるだけ長生きしてほしい」と話していました。

市は平成11年から、桜の保全・育成作業として並木にエアレーションを年1回、片側ずつ交互に施しているほか、年に2〜3本の土壌改良を行っています。同実行委員会では今後、市民が参加する延命作業活動を展開していきたい

と考えています。

なお、今年の作業に掛かる費用には、展勝地さくらまつりの期間中、駐車場を利用した皆さんからいただいた協力金のうち300万円が活用されました。

また同日、平成22年度北上市景観人養成講座が開かれ、受講者は見よう・知ろう・守ろう行動にも参加。景観づくりの観点から並木保全を学んでいました。

同講座は、市が昨年9月に施行した北上市景観計画の下、継続的に景観づくりを実施する人材を育成するための事業。景観づくりをまちづくりにつなげていくための、地域の担い手となることを期待されています。

## 相去地区交流センターが落成

相去地区交流センターが完成し11月21日、センターに隣接する相去体育館で落成記念祝賀会が開かれました。

同地区のセンター事業や地域づくり活動はこれまで、相去体育館を拠点に実施されて

きましたが、今後は交流センターを中心に実施されることになりました。

皆様のご利用をお待ちしています。



新設の相去地区交流センター

## きたかみ企業ネットワークin名古屋開催

市が主催するきたかみ企業ネットワーク2010in名古屋は11月11日、名古屋市内で開催されました。

北上市出身の東海テレビ放送アナウンサー・小田島卓生氏から講演をいただいたほか、伊藤市長はじめ担当職員が愛知県周辺の皆さんに北上市を分かりやすく紹介し、今後の

企業誘致・支援への取り組みをPRしました。

また、翌日には伊藤市長が（株）東芝セミコンダクター社四日市工場を訪問。同工場に向向している岩手東芝エレクトロニクス（株）の社員550人超の皆さんを激励しました。

激励会には160人が参加。伊藤市長は「四日市だけでは生産が追いつかないくらいに頑張っていたら、北上に元気で、早く戻ってきてください」と期待の言葉を述べ、記念品を贈呈しました。出向者を代表して、高橋一也さんは「早く北上に戻れるようにこれからも元気で頑張りたい」とあいさつしました。

北上工業団地へのNANDフラッシュメモリ工場の建設決定は平成19年に発表されましたが、世界経済の低迷により着工は延期されています。

NANDフラッシュメモリはさまざまな機械、電子機器に搭載されるなど、これまで以上に市場拡大が期待されている製品です。新たな技術開発も進んでおり、新製品と情報が一日も早く「MADE IN KITAKAMI」と銘打って世界中に配信されることが期待されています。